

< 運営推進会議における評価_様式例 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	社会福祉法人 洛和福祉会	事業所名	洛和看護小規模多機能サービス音羽
所在地	(〒607-8066) 京都府京都市山科区音羽森廻り町 34-8		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

近隣病院を中心に多機関との連携を図り、地域における医療ニーズの高い利用者様の受け入れを行っている。
 地域との関わりを持ち、利用者様が安心して在宅生活が送れるように援助に努め、家族様と利用者様への相談援助に力を入れている。
 地域にとって「安心」と感じていただけるよう、地域包括ケアシステムの一端を担っている自覚を持って、信頼関係性を築いている。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2021 年 10 月 15 日	従業者等自己評価 実施人数	(14) 人	※管理者を含む
----------------	---------------------	------------------	----------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2022 年 1 月 29 日	出席人数 (合計)	(8) 人	※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	<input type="checkbox"/> 自事業所職員 (1 人) <input type="checkbox"/> 市町村職員 (___ 人) <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員 (1 人) <input type="checkbox"/> 地域住民の代表者 (5 人) <input type="checkbox"/> 利用者 (___ 人) <input type="checkbox"/> 利用者の家族 (___ 人) <input type="checkbox"/> 知見を有する者 (1 人) <input type="checkbox"/> その他 (___ 人)			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	<ul style="list-style-type: none"> ・個別研修計画を年度末より個々の職員に聴き取り作成。定期的に進捗状況を確認する面談を行っていく。 ・職員全員が事業の運営について周知出来るよう、随時申し送り、掲示をし、定期的に個別に説明していく機会を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別研修計画を年度末より個々の職員に聴き取り作成した。 ・なるべく課内ミーティングにて申し送りを実施、その後回覧している。 	<p>研修の内容等、職員の取り組みを運営推進会議の中で報告してもいいと思います。</p>	
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	<ul style="list-style-type: none"> ・看取りは現在おられないが、今後に備え、普段からの個々の関わりの医師、病院との関係（情報提供や受診同行、相談等）を築く。 ・看護小規模としての介護、看護の役割を明確にすることで、より安心感のある事業所とさせて頂けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・CM、看護師が中心となり、情報提供、相談等を行っている。看取りの利用者は現在おられない。 ・業務シフトを随時見直し、前年度より役割は明確になってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の体操等、その人に応じたリハビリの取り組みを今後、より強化していく必要がある。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	<ul style="list-style-type: none"> ・普段からの個々の関わりの医師、病院との関係（情報提供や受診同行、相談等）を築く。 ・運営推進会議だけでなく地域の行事等に積極的に参加し、看護小規模のサービスをアピールしていく。また、今年度同様に開催が難しい場合に、どのように発信していくべきか、事業所内で検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・CM、看護師が中心となり、情報提供、相談等を行っている。 ・今年度もコロナの影響があり、ほとんど地域との関わる機会が持てなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事は現状難しい。 ・今年も昨年度同様、コロナの影響もあり、発信の課題は当事業所も同じです。同地域における事業所同士の連携も出来ればと思います。 ・コロナ禍で会議はなかったが、2か月ごとに議事録は見ている。

	<p>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議だけでなく地域の行事等に積極的に参加し、看護小規模のサービスをアピールしていく。また、今年度同様に開催が難しい場合に、どのように発信していくべきか、事業所内で検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度もコロナの影響があり、ほとんど地域との関わる機会が持てなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事は現状難しい。 ・看護小規模のサービスについて教えて頂きたいと思います。 ・会議があれば、私たちももっとアピールできたと思う。 ・協議会の日程等確認して頂きそこでアピールして頂けると思います。
<p>Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・看取りは現在おられないが、今後に備え、定期的に事業所内で勉強会を行っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・看取りに関する勉強会は未実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・看取りについては当事業所も勉強不足を感じる場所があります。 ・運営推進会議でも取り組み状況などを簡潔に報告してもらえたらと思います。 	

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 「今回の改善計画（案）」および「運営推進会議における評価」

項目	改善計画（案）	運営推進会議における意見等
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	<ul style="list-style-type: none"> ・個別研修計画を年度末より個々の職員に聴き取り作成。定期的に進捗状況を確認する面談を行っていく。 ・職員全員が事業の運営について周知出来るよう、随時申し送り、掲示をし、定期的に個別に説明していく機会を作る。 	
II. サービス提供等の評価	<p>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看取りは現在おられないが、今後に備え、普段からの個々の関わりの医師、病院との関係（情報提供や受診同行、相談等）を築く。 ・看護小規模としての介護、看護の役割を明確にすることで、より安心感のある事業所と感じて頂けるようにする。 	
	<p>2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段からの個々の関わりの医師、病院との関係（情報提供や受診同行、相談等）を築く。 ・運営推進会議だけでなく地域の行事等に積極的に参加し、看護小規模のサービスをアピールしていく。また、今年度同様に開催が難しい場合に、どのように発信していくべきか、事業所内で検討する。 	
	<p>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議だけでなく地域の行事等に積極的に参加し、看護小規模のサービスをアピールしていく。また、今年度同様に開催が難しい場合に、どのように発信していくべきか、事業所内で検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナで現在地域の行事を知らせる事もなかったもので、これからは地域のお祭りや行事にも参加できると思う。
III. 結果評価 (評価項目 42～44)	<ul style="list-style-type: none"> ・看取りは現在おられないが、今後に備え、定期的に計画的に事業所内で勉強会を行っていく。 	

